片山かおるのちょっとカエル通信

63号

おとなも子どももいっしょに育つ町にしよう

小金井市議会議員

発行日：2016年4月18日
発行・連絡先：小金井市議会「緑・市民自治こがねい」小金井市本町6-6-3

緑・市民自治こがねい　会派ニュース

西岡市政はどこに向かうのか？

～21対2で予算は否決！２ヶ月の暫定予算に～

第１回定例会（３月議会）が終わりました

会期延長して3/28に閉会した第一回定例会。2016年度一般会計予算は否決され、3/31の臨時議会で暫定予算が可決されました。（詳しくは「坂井えつ子のつながる小金井通信」を参照）

なぜ予算は否決されたのか？

12 月の市長選では、だれが当選しても議会の多数がとれず、予算が否決される可能性はありました。だれが市長になっても、議会との密な対話、協議、公開の場での議論の積み重ねが必要でした。

西岡市長は議会の要請に応え、福祉会館について全員協議会を開催しましたが、議論が噛み合いませんでした。議案について対話や協議の場はほとんど持たれていません。

議会の追求の中で、選挙の争点となった新庁舎建設を含む「6 施設複合化」の公約を８月までに庁内で検証すると答弁しましたが、本来は当初予算に計画を盛り込み、一刻も早く庁舎建設に向けて動き出すべきでした。

３月末で閉館した福祉会館の代替施設も用意できていません。

自民、共産、公明、自由民主が議員提案した新福祉会館建設の市民検討委員会条例案は可決されましたが、市長は再議に付しました。緑・市民自治こがねいは再議でも条例案に反対し、否決されました。市民検討委員会は必要ですが、建設計画や立地については白紙の状態で始めるべきです。

新庁舎、福祉会館建設を早急に進めるためにも、市長は暫定予算の解消に全力を尽くすべきです。

職員給与引き上げ条例について

人事院勧告等にもとづき、職員給与、地域手当や期末手当がアップされる条例が可決。2015 年度補正予算と2016 年度予算では 6100 万円、2017 年度は 2015 年と比較すると１億２千 800 万円、2018 年度は１億６千 100 万円の影響額です。いったいどうやって捻出するのか。基金も積めず、厳しい行革が必要になるのでは。非常勤職員は月額 1000 円のアップのみで年間 300 万円の経費。正規と非正規の格差をこれ以上広げるべきはありません。

子どもの貧困対策の要、就学援助の認定倍率が引き下げに？

小金井の就学援助は生活保護基準の 1.8 倍までの収入世帯に対し、教材費や給食費や入学準備等が補助されます。

３年間で 1.8 倍から 1.5 倍まで下げていく、という方針が示されました。

議会に報告は一切なく、教育委員会にも示されていません。議会の指摘により３月末の教育委員会に諮り、理事者協議で決定することに。

市長は制度の適正化であり、差額を入学準備費にあてるので、行革ではないと言います。

一方で職員給与を３年かけて大幅アップ、一方で低所得者層への援助を３年かけて削り、さらなる低所得者層へわずかな予算を回していく、弱者間の行革です。

まずは実態調査をして、教育への保護者負担を減らしてから再度検討し直すべきです。

超党派による「合同市政報告会」開催！

日時：4月29日（金・休）　18:30～20:30

場所：萌え木ホール

主催者（市議会会派有志）：自由民主党小金井市議団、日本共産党小金井市議団、小金井市議会公明党、リベラル保守の会、生活者ネットワーク、緑・市民自治こがねい、こがねい市民会議、小金井自由民主

片山かおるの一般質問

さわらび学童保育所の運営委託は？

第４小学校に併設する、さわらび学童保育所の運営が、一年で委託から直営に。委託業者が次年度契約を希望せず、プロポーザル選考するため提案した補正予算は積算根拠が不明で撤回されています。

今後はベテランを配置して子どもたちに配慮するそうですが、第三者機関での検証は行わないとのこと。入所人数が大幅に増えて都の基準を満たせず、都型学童補助が出ないので、委託による財政効果も無くなっています。市長は一年後に再度委託する方針ですが、問題解決しないままの委託は困難です。

福祉会館と公民館本館のこれから

３月末で福祉会館が閉鎖され、活動休止した団体も。利用者状況把握の後追い調査を提案。公民館事業も縮小されています。講座アーカイブや 16 ミリフィルム市民映画会の継続を求めました。

これからの福祉会館と公民館のあり方は、市民検討委員会での多角的な議論が必要です。

2015年度（2015年1月～12月）

片山かおるの収支報告

収入

議員報酬……8,202,600

支 出

税、国民年金、国民健康保険……1,691,030
市民自治こがねい ……720,000
片山かおるといっしょにかえる小金井の会 ……600,000
生活費・活動費など ……5,191,570

支出計……8,202,600

政務活動費……360,000

議員の調査活動への市の補助金 一人月3万円を会派に 支給。領収書原本と報告書を議会事務局で公開しています。市議会HPでは支出調書を公開。この通信は政務活動費で作成。

審議会委員報酬（土地開発公社評議員会、青少年問題協議会） … 50,000

議員は審議会報酬等、二重取り的な報酬は必要ないと考えます。私は審議会報酬は受け取り拒否をし、法務局に供託しています。

片山かおるプロフィール

1966年生れ。総務企画委員、資源循環型社会推進調査特別委員、議会運営委員。市民グループ「市民自治こがねい」共同代表、片山かおるといっしょにかえる小金井の会、放射能問題に取り組む親たちと共に活動中。全国フェミニスト議員連盟、市民自治をめざす三多摩議員ネット、緑の党、「原発事故子ども・被災者支援法」推進自治体議員連盟、「なくそう！子どもの貧困」全国ネットワークなどにも参加。

生活困窮者自立相談事業の充実と庁内各部署の連携

自立相談サポートセンターへの相談は 40 代が一番多く、収入や生活費が、もっとも多い相談です。税の支払い相談も多く、納税課の窓口でサポートセンターを知る人も。納税課と地域福祉課が中心の庁内連携は重要と認識し、連携を進めるとのこと。

今後、サポートセンターやボランティアセンターが中心となり、市民と協働した食の支援（子ども食堂やフードバンクなど）に取り組むべきです。

「原発事故避難者への住宅支援の継続を求める意見書」が賛成多数で可決

原発事故避難者への住宅支援が、2017 年３月で打ち切り、縮小されます。意見書では「住宅支援に避難者の意見を反映させ『支援法』に基づく支援を行うこと」「空家活用策や居住支援協議会で避難者支援を位置づけること」「『支援法』に基づく新たな法制度を確立し、都営住宅の優先入居制度を拡大すること」を求めました。“住まいは人権”。放射能高汚染地域への帰還政策は人権侵害です。

☆「市政づくりオープンミーティング」☆

ざっくばらんな意見交換の場です。その時々の議会や市政状況について、片山かおると坂井えつ子と共に話しあいましょう。お気軽にご参加ください。

5/15（日）10:00~12:00（3月議会について）
6/10（金）19:00~21:00（6月議会について）

場所：市民交流スペース　カエルハウス
（中町4-17-11　連雀通り沿い）

主催：緑・市民自治こがねい（tel:042-316-1511）

議会日程

4/22（金）総務企画委員会
5/9（月）厚生文教委員会
5/12（木）建設環境委員会
5/13（金）行財政改革調査特別委員会
5/16（月）資源循環型社会推進調査特別委員会
5/17（火）議会運営委員会
5/30（月）議会運営委員会（14:00から）

※暫定予算のため5月中に臨時議会が開会され、本予算が審議される予定。
※すべて基本的には10:00開始。問合せは議会事務局（042-387-9947）まで

◇片山かおる　連絡先◇
小金井市中町4-17-11　TEL&FAX:042-316-1511
http://katayamakaoru.net/　office@katayamakaoru.net
ツイッター、フェイスブックは「片山かおる」で検索

●ご意見、ご感想をお寄せください